

## NPO法人

### 渚滑川とトラウトを

#### 守る会の活動について

P.O)となりました。

現在、会の主な活動としては、成魚の放流事業、発眼卵の放流、稚魚の放流と3段階の成長度合いに分けて魚の放流を行っています。

キャッチ＆リリースの事業につ

いても引き続き推進しており区画の表示看板の設置と撤去等。

またフライフィッシングのスクールや、フライタイイングスクール、トラウトダービー等各種イベントにより、釣りをはじめとする人から渚滑川で釣りを楽しむ人への支援。

H.Pを通じて全国の釣り人へ渚滑川の状況を発信したり、年間の活動を報告しております。

また、渚滑川へ釣りに外国人や、道外の方が来る事がありますが、初めての方には要望があれば釣りのガイドもしています。

NPO法人渚滑川とトラウトを守る会は、渚滑川とトラウトを守る会がキャッチ＆リリースの推進と地域の釣り場を守るために魚の放流をする任意団体から始まっており、その後活動をさらに発展させたために社会的に認知された団体となるため、特定非営利活動法人（N

は交雑し、違う種の魚となってしまします。これを回避するために、地域の魚を交雑して害さず、観光資源として有用と認められる外来種のニジマスを選択して、放流しています。

釣りを楽しむうえで、キャッチ＆リリースはとても重要な取り組みだと考えています。従来の釣りは、釣つて、食べて楽しむので自分一人で完結しています。しかし、キャッチ＆リリースは次の釣り人の為に、長く釣りをして楽しめるように考えられた制度です。釣った魚を川へ帰し、それをまた釣つて楽しむ事によってより多くの人が釣りを楽しむ事ができます。

キャッチ＆リリースを推進し続ける事により、渚滑川にも変化が生まれました。それは、放流しているニジマスの数の増加と共に、在来種のアメマスやオショロコマ等の数や生息地が増えた事です。キャッチ＆リリース区域を指定する事により釣った魚を川へ帰すため、より種が保全されていきます。とても嬉しい事です。このまま、放流を無くしキャッチ＆リリースのみで、魚た

ちが自生していく環境が出来れば理想的だと思っています。

現在、思っている事としては、地域の子ども達で釣りをする子が少ない事です。渚滑川はとても素晴らしい釣り場ですが、あまり釣りに興味のある子が少ないようを感じます。私たちも今後は、釣りに親しみを持てるように、何か考える必要があると思っています。

これからも、より永く、より多くの人に釣りを楽しんでもらえる環境づくりをしていきたいと思っています。より永く釣りを楽しめる環境を保全し続ける事により、釣り人が多く渚滑川を訪れる事で、多くの意見を得る事が出来ます。多くの意見がさらにより良い釣りの環境づくりに繋がると考えています。

